

7 共創で進めるまちづくり

17 パートナシップで
目標を達成しよう

都や近隣自治体、民間企業との連携促進による多摩イノベーションパーク構想やSDGs宣言制度の推進、(仮称)日野市工業振興計画の策定、創業支援施策や事業者の自主的取り組みの推進、企業立地奨励金の継続による産業基盤の充実を図ります。また、農業の担い手創出や販売支援など農業者やNPO、市民などと共に、農のある風景を次世代につなげていきます。



8 安全安心な都市基盤

11 安全安心なまちづくり

地域防災計画に基づき、防災情報配信システムの充実や、避難所運営のための地域自主防災会の活動支援、避難行動要支援者などの個別避難計画の作成を進めます。新しい南平体育館の利用促進を図るとともに、浅川以南の防災拠点としての活用を進めます。また、東西交通網の改善のため、都市計画道路3・3・2号線の早期実現を目指します。



令和4年度予算の概要

ID 1019187・1019188

図 財政課(☎042-514-8076)



予算編成の基本的な考え方

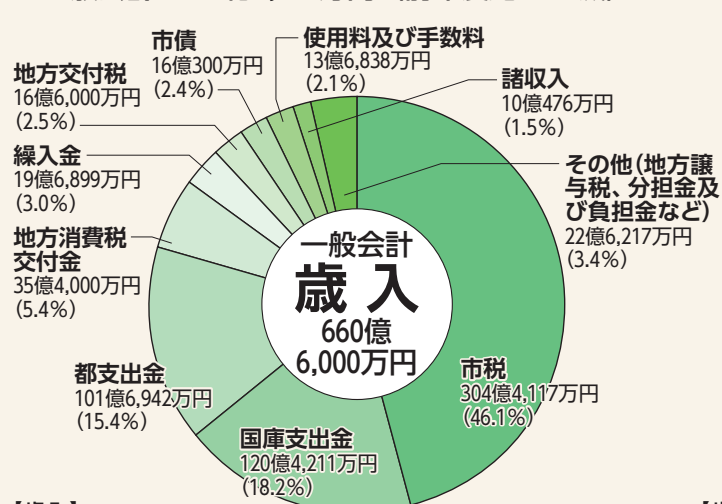
日野市を取り巻く状況や今後の財政収支見通しのほか、新型コロナウイルス感染症の収束が見通せない状況を踏まえ、右記の考え方を基本とした予算編成を行いました。

① 厳しい社会環境、財政状況下でも積極的に課題解決に向かう、「諸力融合」を基本とした、市の財源負担のみによらない事業推進体制をつくる

② 日常的に新型コロナウイルスの感染防止に留意しながら生活する「ウィズコロナ」を契機として、より効果的・効率的な実施となるよう事業を見直す

※詳細は広報5月号でお知らせします

■一般会計 660億6,000万円(前年度比4.3%減)



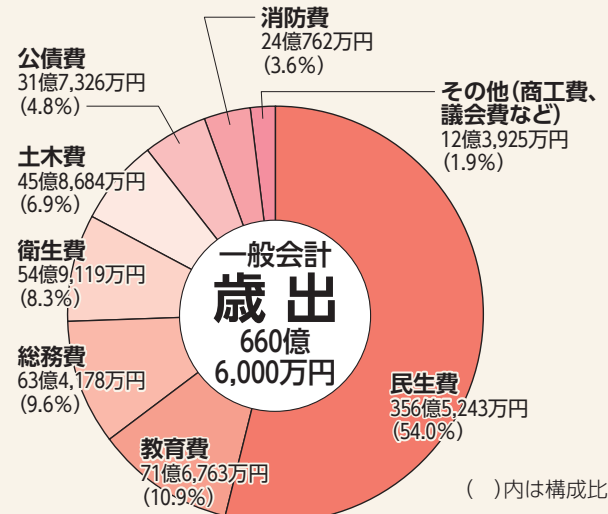
【歳入】

- ・市税および地方消費税交付金は、新型コロナウイルス感染症の影響が限定的だったことを踏まえ増収の見込み
- ・国庫支出金は、南平体育館整備事業などの完了により補助金大幅に減少する一方、生活保護費など扶助費の増に連動して全体としては増加
- ・繰入金および市債は南平体育館整備事業の完了などから減少

■特別会計 556億4,795万円(前年度比1.5%増)

【主な増減理由】

- ・新型コロナウイルス感染症の影響による受診控えからの回復による増などにより前年度比9億5,142万円の増(国民健康保険特別会計)
- ・高齢化の進展や給付サービスの利用者数の増加などにより前年度比2億2,158万円の増(介護保険特別会計)



【歳出】

- ・教育費は南平体育館整備事業、豊田小学校東校舎改築工事の完了などから減少
- ・総務費は東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会、市長選挙・衆議院議員選挙・市議会議員選挙などの完了に伴う減少
- ・民生費は生活保護費や障害者自立支援給付費などの扶助費の増や国民健康保険をはじめとした民生特別会計への繰出金の増などから増加

()内は構成比

守ろう地球環境！プラスチックは大切な資源！

プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律が4月1日から施行されます

ID 1019398

図 施設課(☎042-581-0443)



プラスチック資源循環促進法とは

海洋プラスチック問題、気候変動問題などを契機として、プラスチック製品の製造から最終処分までに関わる、あらゆる主体におけるプラスチック循環などの取り組みを促進しようという法律です。

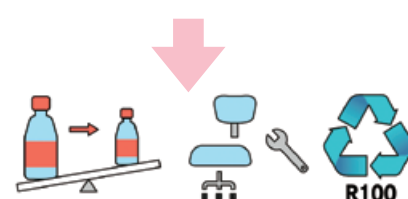
12 つくる責任
つかう責任

14 海の豊かさ
を守ろう

なにが変わるの？

① 製造事業者は

プラスチック製品を環境に配慮したものに変わっていく。



- ・プラスチックの使用量を減らす
- ・解体しやすい構造にする
- ・代替素材に切り替える

② 販売・提供事業者は

スプーンやフォークなどの無償で提供されるプラスチック製品の削減に取り組む。



③ 市町村は

プラスチック全体の回収・リサイクルに取り組む。



提供事業者	対象品目(12品目)	提供方法
百貨店、スーパー、コンビニ、飲食店など	スプーン、フォーク、ナイフ、マドラー、ストロー	・有料化 ・ポイント還元
ホテル、旅館など	ヘアブラシ、くし、かみそり、歯ブラシ、シャワーキャップ	・繰り返し使える製品を提供
クリーニング店など	プラスチックハンガー、衣類カバー	・消費者への意思確認 ・回収し、再利用



市では先行して取り組みを始めています

市では令和2年1月から、プラスチック資源循環促進法に先行して、すべてのプラスチックごみを資源として回収しています。回収されたプラスチックは、「プラスチック類資源化施設」にて、手選別で不適物を取り除き、資源化業者に引き渡し、リサイクルしています。

みんなで協力して第3次ごみゼロプランに掲げる令和8年度総資源化率45%以上の目標を達成しましょう！



第3次日野市環境基本計画を策定しました

ID 1004889

図 環境保全課(☎042-514-8294)



近年、私たちの周りでは、地球温暖化の影響による気候変動に起因すると考えられる災害の多発、開発や乱獲、外来生物の侵入などによる生態系への影響、マイクロプラスチックによる海洋汚染などさらなる環境問題が発生し、その深刻さは増しています。

日野市を取り巻くさまざまな環境課題に適切に対応するため、前計画を改定しました。

計画が目指す六つの目標

気候変動に対応・適応するまち

多様なみどりのあるまち

豊かな水環境のあるまち

多様な生きものが共存するまち

ごみゼロのまち

住みよいまち

豊かな自然環境を次の世代に

第4次日野市地球温暖化対策実行計画を策定しました

ゼロカーボン
の
HIN



ID 1004890

図 環境保全課(☎042-514-8294)

日々進行する地球温暖化へ対応・適応するため、計画を策定しました。市は、2030年二酸化炭素排出量46%削減、2050年排出量実質ゼロを目指します。

計画は市HPなどでご覧ください。